

令和元(2019)年 9 月 27 日

住民の皆様

青木村役場 建設農林課

豚コレラ経口ワクチンの野外散布について（お願い）

このたび、野生イノシシによる豚コレラの日本全国への拡散を防ぐため、国（農林水産省豚コレラ防疫対策本部）及び長野県からの依頼により、豚コレラ対策「経口ワクチンベルト」への取り組みの一環として、上田市や長和町など周辺市町村と一体となって、本村においても「経口ワクチン」を村内76か所に散布することとなりました。

つきましては、下記の日程により実施する予定ですので、ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

記

- <作業日時> 10月8日（火）～10月11日（金）
午前9時頃から午後5時頃
- <散布場所> 村内76か所
(原則として個人所有の土地には散布しませんが、そのために通過させていただく場合がございますのでご了承ください。)
- <散布方法> 1か所あたり、間隔をあけて地面に深さ10cmの穴を10個掘り、経口ワクチン2個と餌を入れて、埋め戻します。
- <作業者> 国、県、村職員で班編成し、1班あたり3～4名で、1日あたり2～3班が作業のため村内各所へ入ります。

<問い合わせ先>

上田地域振興局農政課	電話	0268-25-7126
青木村役場建設農林課	電話	0268-49-0111
	情報電話	49-3131

※ 裏面に、豚コレラに関するQ&Aを掲載しましたので、ご覧ください。

豚コレラに関するQ&A

Q 1. 青木村での豚コレラの発生状況は？

A 1. 現時点（2019.9.27 現在）で、村内では発生しておりません。また、村内に養豚業者はいません。

Q 2. そもそも豚コレラって何ですか？

A 2. 豚コレラウイルスにより起こる豚、イノシシの熱性伝染病で、強い感染力と高い致死率が特徴です。感染豚は唾液、涙、糞尿中にウイルスを排泄し、感染豚や汚染物品等との接触等により感染が拡大します。

豚は、全頭検査に合格したものだけが市場に流通するため、感染豚の肉が市場に出回ることはありません。

Q 3. 豚コレラは、人にうつらないの？

A 3. 人には感染しません。人と豚・イノシシは細胞の構造が違うため、豚コレラウイルスはヒトの細胞内に侵入することはできません。仮に何らかの理由で人の体内にウイルスが入っても細胞には入れず、増殖しないまま消化されます。豚・イノシシ以外の動物にも感染しません。

Q 4. 経口ワクチンって何？どんな効果があるの？

A 4. ドイツから輸入し、トウモロコシ粉等で固めたビスケット状の餌（40mm×40mm×15mm）で、餌の中に1.6mlの液状ワクチンがアルミ箔に包まれて挿入されています。この経口ワクチンを野生イノシシが食べるとワクチンにより免疫ができることで、豚コレラ感染を防ぐことができます。（100%防げるわけではありません。）

Q 5. 経口ワクチンを、人やペットが誤って食べてしまっても大丈夫？

A 5. 人やペットが誤って食べてしまっても、体に害はありません。

Q 6. 「経口ワクチンベルト」って何ですか？

A 6. 豚コレラウイルスの日本全国への拡散を防ぐため、関係省庁や関係県と連携し、東日本・西日本で経口ワクチンをベルト状に散布するもので、長野県内では青木村を含む数市町村が対象地域となっています。

Q 7. 経口ワクチンは、散布後どうなりますか？

A 7. 現在のところ、散布して1週間から10日後に、回収する予定です。